

平成26年度 第2回石巻市震災復興推進会議 会議録

1 日 時 平成26年10月13日(月) 14:00～16:20

2 場 所 石巻市役所 庁議室

3 出席者 【委員】16名(別紙参照)
【市】市長、各部長、各総合支所長、関係部次長課長等、
事務局(復興政策課)
【オブザーバー】(別紙参照)

4 会議概要

(1) あいさつ(丸岡会長)

- ・ 石巻市の復興計画は10年間のスパンであり、国で言う集中復興期間の5年目は来年度となる。
- ・ 現在、国では地域再生を進めており、地域包括ケアシステムも同様であるが、全ての施策を国が賄うことはできない。
- ・ 阪神淡路大震災がボランティアの始まりと言われているが、地域の方々が力を発揮できるシステムが重要となる。

(2) 議 事

ア 提案等に対する取り組み状況等について【資料1】(説明:石橋復興政策課長補佐)

◎中瀬地区について

【委員】

中瀬地区について、2年前にワークショップで取りまとめた経緯があるが、全体ビジョンの決定はいつになるか、また、中心市街地活性化基本計画との関係はどうなっているか。市の公園整備が11月から工事着工と聞いている。公園整備のみが走り、その他の全体計画との連携が心配である。

【復興事業部長】

中瀬の面積6.0haのうち1.8haを災害復旧事業で11月に着手し、この他は平成27年度までに実施設計、平成28年度からの工事を予定している。災害復旧事業分が財源を確保しているが、他の部分はまだである。

【復興政策部長】

中心市街地活性化基本計画は10月認定を予定していたが、現在、国で地域再生計画が議論されており、この計画に乗れるか否かを検討中である。

【委員】

今の説明で財源の問題については理解したが全体の絵がないのでイメージができない。新しい橋の計画もあり、乗り入れが変更になることから、早い時期に全

体をリンクした形で進めてもらいたい。

◎地域コミュニティの再生（復興住宅6階のベランダの屋根）について

【委員】

具体的には「向日葵ハイツ」であるが、北側は庇が設置されている。この回答では、市民（住民）にどのように説明して良いか分からない。

【復興事業部長】

事業者にも協議している。会議終了後に個別に対応したい。

【委員】

採光の問題とあるが、今は材料、技術も進歩している。回答を作るときに疑問を感じなかったか。

◎新内海橋について

【委員】

新内海橋について、詳細な計画等の話は県土木に質問すればよいのか。

【復興事業部長】

東部土木事務所の道路一班で対応可能であるが、訪問しづらければ市基盤整備課において、できる限りの資料は提供したい。

◎市立病院再建（仙石線の高架化）について

【委員】

同盟会組織は、既に解散しているとのことだが、市の状況も変化しているので、改めて効果を検討すべきではないか。（当時の採択基準の要件変更していないのか。）

高架化は渋滞緩和のみならず、都市計画上波及効果が大きいと思うが、その後の計画はあるのか。

【山下建設部次長】

平成元年の調査時は1日20,000台となっていた。現在の数値は把握していないが同程度と考えている。渋滞緩和に関する計画として、七窪蛇田線や石巻駅周辺整備計画がある。

【丸岡会長】

この課題は、本会議でもよく話題になるので、全体的にわかりやすい資料を提供してほしい。

【山下建設部次長】

七窪蛇田線の住民説明会と同様に、三角茶屋の交差点や右折レーンを含んだ資料を提供したい。

イ 復興事業スケジュールについて【資料2】（説明：復興政策課長）

◎新雨水計画図について

【委員】

前回の集中豪雨で市内各所が冠水し、排水ポンプが急がれる。仮設ポンプでは足りないので増強や能力アップなど当面の強化策が必要である。

【山下建設部次長】

現在、48カ所110台で対応しているが、市内全体が地盤沈下しているため対応できていない状況である。ポンプ場の設備の能力を変更して排水量を上げられるよう検討するとともに、国交省の協力により強力なポンプを4台設置している。また、雨水排水基本計画を策定しており、近々お示ししたい。

【委員】

前回の冠水を中里地区で目の当たりにしたので、今の説明では安心できない。

【浅野副会長】

近々という言葉ではなく、期限を区切って説明してほしい。中心市街地に出店する人に冠水対策を説明するが、詳細になると説明ができない。

【山下建設部次長】

これからの豪雨全てが大丈夫とは言えないが、時間雨量45.6ミリで設計、平成30年度を目標に計画し、徐々に稼動することとなる。計画は議会の承認をいただいたので、市報で公表する予定である。

【委員】

震災時は、駅裏や穀町等の駐車場で多くの車が水没した。国交省の4台のポンプはどこに設置されているのか。図面に機場ごとの能力を記載して何ミリの雨量に対応できるかを示してほしい。また、これまでは蛇田地区の水田が降雨時の貯水槽の役割を果たしていたが、現在は水田が少なくなっている。この状況を踏まえて計画されているか。

【丸岡会長】

台風も近年は大きくなっているが、現状の対策はどうなっているか。

【委員】

この会議は復興に特化すべきであり、計画は計画で市民に分かりやすく出してほしい。

【委員】

排水問題を協議会で議論した時に、「ポンプ場を広小路に」という話があった。石巻中央排水ポンプと位置が遠いが、傾斜等に疑問がある。

【市長】

地下3mに貯水管を設置し、雨水をその管に貯水する計画である。時間雨量45.6ミリまでは100%国の予算で実施できる。

現在の能力は計画の半分程度であり、ゲリラ豪雨にどこまで対応できるかは不確かであるが、市民に示したい。

【委員】

貯水機能の話があったが、栄田にも貯水池がある。貯水機能が大事であることを市民にも説明していただきたい。時間雨量の設定について、最大値をもって最

大の災害に備えるべきと考えるが、平均雨量とするルールがあるのか。

【丸岡会長】

市民が安心できるように、情報の開示をお願いしたい。

◎半島部の防災集団移転促進事業について

【委員】

半島部の防災集団移転促進事業については目に見えてきており良いことだと思うが、戸数が少なく限界集落化が心配される。乗り越えるにはソフト事業が重要であることから、復興事業にプラスアルファしていただきたい。

ウ 自動車避難シミュレーションについて【資料3】（説明：二上総務部次長）

【委員】

三陸地震の時に、石井閘門から大橋方面は渋滞しなかった。石巻市は地形上、南境から日赤方面への橋（曾波神大橋）以外に橋がない。橋が不足しており袋谷地にも橋が必要である。

【委員】

若くて動ける人はいち早く避難して、動けない高齢者等が残ってしまう。住民のニーズ全てには多すぎて対応できないため、石巻市としてどのようにすべきかを定めるべきである。

【委員】

以前、NHKで、地震発生時に海沿いに向かう人が多いことが報道されたことがある。動ける人は自動車避難を放棄すべきである。

【委員】

家族等を迎えに行くことで渋滞が発生している。学校等に迎えに行って津波に巻き込まれないよう、学校、職場でどのように避難するかを徹底しておくべきで、その後、家族の待ち合わせ場所に行くなど家族間、企業間で約束事しておくことが大事である。

地震発生時には渋滞する橋に向かうことだけでなく、近くの立体駐車場やパチンコ店の駐車場などエリア内の高台に向かうよう誘導すべきである。

【委員】

安全面からの避難タワー的な施設を考えてはどうか（例えば、中心市街地の駐車場について、店主は店の近くにとと思うが、高台に設置すれば避難場所にもなるなど。）

【丸岡会長】

これまでは徒歩での避難が原則だったが、説明を聞くと自動車避難も組み込んだ感じがする。

【二上総務部次長】

地域防災計画でも徒歩避難を原則としており、マップも全戸配付しているが、現実的に地震が発生し津波警報となると、自動車が動く。先進的な自治体でも同

様の状況となっている。もっとも効果的な、自動車避難を認めるように研究している。

【丸岡会長】

予算の関係もあり、自動車避難では犠牲者が多く発生することなどを広報するしかない。

【委員】

私の会社は、工業港に向かう通りにあり、震災時中浦橋付近も大渋滞だった。この中浦橋を渡り国道45号へ行った者が生き残った。このため、職場の訓練では、予め集合場所を決めておき、自動車や徒歩での避難を実施している。

民間企業を活用して、地区ごとに具体的な行動をシミュレーションしてモデルケースとするなど官民一体となった取組みをすべきである。

【委員】

3. 11の震災時、宮城交通のバス十数台が霊園に避難した。避難場所を決める上で霊園は有効な自動車避難の場所だと思う。活用を検討されたい。また、自宅2階への避難の徹底も必要ではないか。

(3) その他

【事務局】

今後の開催予定・提案（意見）書について説明

【委員】

10月19日（日）の防災訓練について、日曜日の朝7時は企業も学校も休みであり参加率が悪いのでは。日時の工夫をお願いしたい。

【総務部長】

当日は、大漁まつりや港湾感謝祭などのイベントも重なっている。休日登校を活用して学校の児童生徒も参加しやすいように日曜日とした。

【丸岡会長】

町内会長などと相談して決定されたい。

(4) あいさつ（浅野副会長）

- ・ 避難に関しては、企業内の防災、官民挙げての取組み、災害弱者の問題など多角的な実施を検討されたい。
- ・ また、雨水排除に関し、短期的な応急対応と長期的な復旧計画について説明をお願いしたい。

以上

別紙

【出席委員16名】

氏名	所属	備考
浅野 亨	石巻商工会議所 会頭	副会長
阿部 洋子	石巻市民生委員・児童委員協議会 会長	
伊藤 和男	特定非営利活動法人石巻市体育協会 会長	
大槻 幹夫	河北地区住民代表	
尾形 和昭	株式会社街づくりまんぼう 代表取締役副社長	
兼子 佳恵	環境と子どもを考える会 代表	
後藤 宗徳	社団法人石巻観光協会 会長	
西條 允敏	石巻市文化協会 会長	
高橋 和子	河南地区住民代表	
馬場 利一郎	石巻市身体障害者福祉協会 会長	
藤井 勝	貞山三・四・五丁目自主防災会 会長	
丸岡 章	石巻専修大学理工学部特任教授、東北大学名誉教授	会長
山崎 信哉	石巻仮設住宅自治連合推進会 名誉会長	
吉田 薫	雄勝地区住民代表	
吉田 忠美	石巻市町内会連合会 会長	
吉田 祐二	石巻市社会福祉協議会 事務局次長兼総務課長 兼ささえあいセンター事業副総括	

【欠席委員6名】

氏名	所属	備考
渥美 克之	牡鹿地区住民代表	
阿部 力太郎	宮城県漁業協同組合 代表理事理事長	
小野田 泰明	東北大学大学院工学研究科 教授	副会長
久門 俊勝	一般社団法人石巻市医師会 副会長	
佐々木 文彦	北上地区住民代表	
松川 孝行	いしのまき農業協同組合 代表理事組合長	

オブザーバー

宮崎 潤太 復興庁宮城復興局 石巻支所
齋藤 牧人 宮城県東部地方振興事務所 地方振興部 総括担当次長